



Institute of Labor Education & Culture

# 通信 No.42

2015年10月28日

編集・発行：公益社団法人教育文化協会

〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台3-2-11 連合会館1F

tel 03-5295-5421 fax 03-5295-5422

URL <http://www.rengo-ilec.or.jp>

発行責任者：専務理事 木村裕士

## 「連合寄付講座」を2大学で開講中 ～法政大学と埼玉大学で～

9月22日（火）より、法政大学キャリアデザイン学部において、連合寄付講座を開講しました。法政大学では、2013年より講座を開講しており、今年で3年目の開講となります。

第1回目の講義では、担当教員の梅崎修法政大学キャリアデザイン学部教授より、「労働組合とは何か、なぜ必要なのか」をテーマにオリエンテーションを行い、今後の講義でゲストスピーカーの方々からお話しいただく内容について紹介がありました。第2回目では、教育文化協会の南雲理事長より、本講座を通じて学生の皆さんに学んでいただきたいことを伝えるとともに、ご自身の経験などを交えた講義を行いました。10月の第1週よりケーススタディに入り、各テーマに沿った課題と取り組みについて、ゲストスピーカーの講義が展開されます。



▲法政大学での寄付講座の様子

また、9月29日（火）からは、埼玉大学経済学部においても連合寄付講座を開講しています。埼玉大学では、2007年より講座を開講しており、今年で9年目を迎えます。また、昨年より金井郁埼玉大学経済学部准教授が担当教員を務められています。

これまでの経験を踏まえたプログラム作成、運営の充実に努め、講座のさらなる発展につなげていきたいと考えています。

連合寄付講座は、連合、連合構成組織、地方連合会のご協力なしには企画・運営できないものです。関係各位のご理解とご協力に感謝申し上げますとともに、今後とも引き続きのご支援をお願いいたします。

なお、連合寄付講座は聴講ができます。講義の聴講を希望される方は、ILECホームページよりお申し込み下さい。また、過去の講義録についてもILECホームページでご覧いただけます。

### 2015年度法政大学 秋学期「連合寄付講座：働くということと労働組合」プログラム

回	日程	講義テーマ	ゲストスピーカー
1	9/22	【オリエンテーション】講義：労働組合とは何か	法政大学教員
2	9/29	【開講の辞】連合寄付講座で法政大学の皆さんに学んでほしいこと 【課題提起①】「働くということ」をどう捉えるか～労働組合がめざす社会像とは～	南雲弘行 教育文化協会理事長
3	10/6	【課題提起②】いま働く現場で何が起きているのか ～労働相談からみた若者雇用の現状～	駒井 卓 連合中央アドバイザー
4	10/13	【ケーススタディ①】ワークルール確立に向けた取り組み（労働時間問題を中心に）	松本智志 NTT労働組合企画組織部中央執行委員
5	10/20	【ケーススタディ②】労働諸条件の維持・向上に向けた取り組み（2015春闘を中心に）	富田珠代 自動車総連副事務局長
6	10/27	【ケーススタディ③】男女がともに働きやすい職場づくりに向けた取り組み	高橋桂子 三井生命労働組合中央財政長
7	11/10	【ケーススタディ④】公正・公平な処遇とキャリア形成に向けた取り組み	長谷川学 三菱電機労働組合中央執行委員
8	11/17	【ケーススタディ⑤】雇用と生活を守る取り組み（中小企業の事例を中心に）	川野英樹 JAM副書記長
9	11/24	【ケーススタディ⑥】非正規社員の組織化と処遇改善に向けた取り組み	安藤賢太 UAゼンセン流通部門常任執行委員
10	11/1	【ケーススタディ⑦】公務労働の現状と公共サービスの役割	岸真紀子 自治労組織対策局長
11	12/8	【課題への対応①】ワーク・ライフ・バランス社会の実現をめざして	南部美智代 連合副事務局長
12	12/15	【課題への対応②】グローバル化にどう対応するか	小川陽子 UNIB本加盟組織連絡協議会事務局長
13	12/22	【論点整理①】「働くということ」と労働組合 (それぞれのケーススタディの振り返り、働く者を取り巻く課題と労働組合の役割の再確認、グループワーク含む)	法政大学教員
14	1/12	【論点整理②】グループディスカッションによる論点整理と重要な論点の確認	法政大学教員
15	1/19	【修了講義】「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて	逢見直人 連合事務局長

※講義時間は、火曜日 15:10～16:40

## 2015年度埼玉大学 後期「連合寄付講座：働くということと労働組合」プログラム

回	日程	講義テーマ	ゲストスピーカー
1	9/29	【開講の辞】連合寄付講座において埼玉大生に学んで欲しいこと 労働組合に関する基礎知識	村杉直美 教育文化協会常任理事 金井 郁 埼玉大学准教授
2	10/6	「働くということ」をどうとらえるか	高木郁朗 日本女子大学名誉教授
3	10/13	労働組合をつくる	駒井 卓 連合中央アドバイザー
4	10/20	非正規労働者の処遇改善をすすめる	田岡庸次郎 ライフ労働組合執行委員長
5	10/27	労働時間を短縮する	片山康夫 ヤマト運輸労働組合中央書記長
6	11/10	仕事と生活の両立をはかる	藤本英和 生保労連中央副執行委員長
7	11/17	公正な賃金制度を確立する	芳野友子 JUKI労働組合中央執行委員長
8	11/24	グローバル時代でのCSRに取り組む	末吉武嘉 全高島屋労働組合連合会会長
9	12/1	地域で雇用と生活を守る	佐藤道明 連合埼玉事務局長
10	12/8	働く人々の生活と連合の政策 —「働くことを軸とする安心社会」の実現をめざして	平川則男 連合総合政策局長
11	12/15	2016春季生活闘争 —すべての働く者の生活向上をめざして	須田 孝 連合総合労働局長
12	12/22	男女平等参画社会の実現に向けて	南部美智代 連合副事務局長
13	1/12	若者を支える連合の取り組み	村上陽子 連合総合労働局長
14	1/19	教員によるまとめ	金井 郁 埼玉大学准教授
15	1/26	【修了講義】「働くということと労働組合」	神津里季生 連合会長

※講義時間は、火曜日16:20~17:50

### 地方連合会 寄付講座

## 今秋、首都大学東京で新規開講

地方連合会においても連合寄付講座の新規開設が相次いでいます。

今秋は、首都大学東京で開講しました。10月から来年2月まで、労働運動の第一線で活躍する連合役員が、各県の労働事情を踏まえながら講義を行う予定です。また、この秋には、山形大学（連合山形主催）、佐賀大学（連合佐賀主催）、大分大学（連合大分主催）でも開講しています。

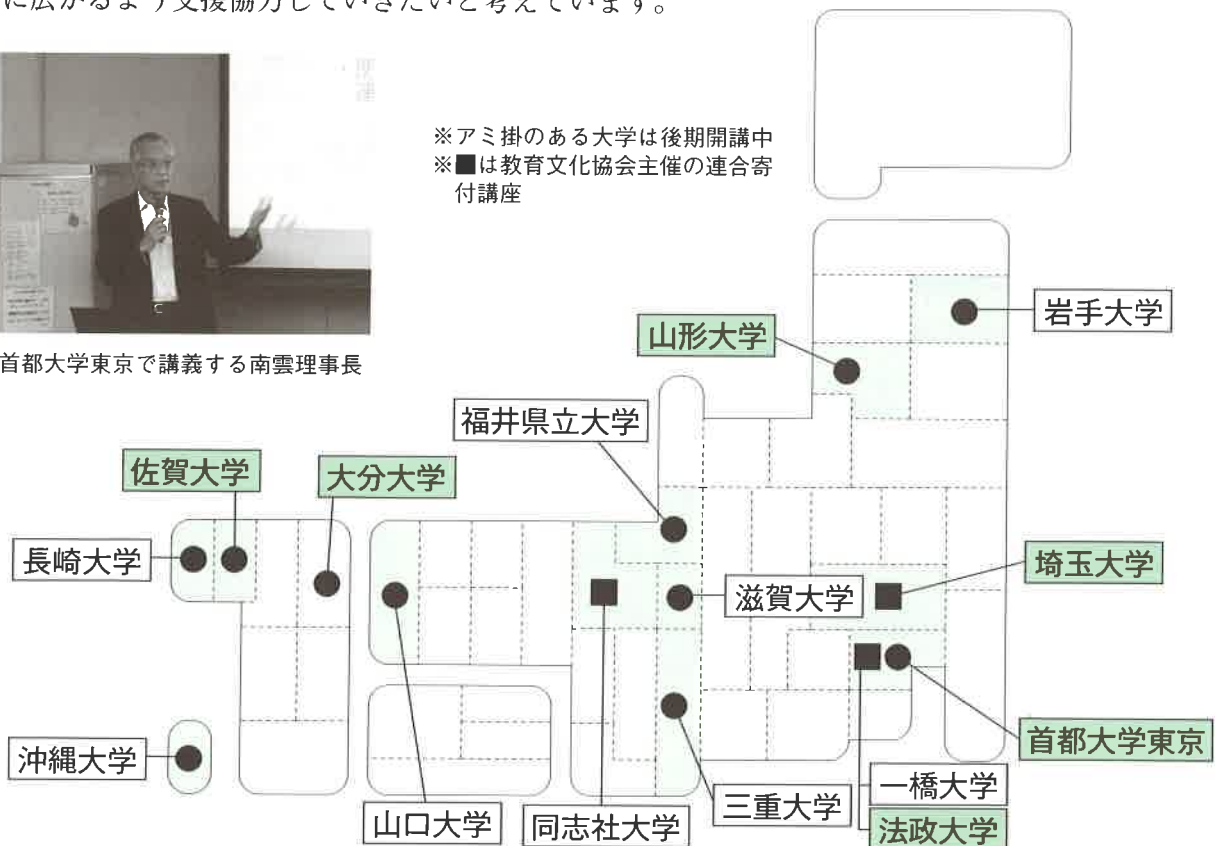
首都大学東京の開講によって、地方連合会による連合寄付講座は計11大学となりました。

現在、地元開設を検討している地方連合会から続々と問い合わせを頂いています。ILECではさらに全国に広がるよう支援協力していきたいと考えています。



▲首都大学東京で講義する南雲理事長

※アミ掛のある大学は後期開講中  
※■は教育文化協会主催の連合寄付講座



# Rengoアカデミー第14回マスターコース修了式を開催

— 受講生19名全員が修了 —

2014年11月に開講したRengoアカデミー第14回マスターコースの受講生19名が全員そろって修了しました。

9月30日（水）に連合会館で開催された修了式では、南雲弘行理事長による主催者挨拶の後、古賀申明Rengoアカデミー校長より修了生一人ひとりに修了証が手渡されました。修了式とその後の懇談会には、ゼミナールでご指導いただいた先生や修了生の出身組織代表者の皆様にもご出席いただきました。懇談会では、修了生より今後の決意表明がされるとともに、ゼミナールの先生方や出身組織代表者より激励のメッセージをいただきました。



▲第14回マスターコース修了式の様子

修了生のみなさんの今後のご活躍を祈念いたします。あわせて受講生を送り出していただいた各組織のご協力に感謝申し上げます。

修了論文集はすでに会員組織に配布しておりますが、ホームページにて論文概要をご覧いただくこともできます。なお、11月15日より第15回マスターコースが開講いたします。各組織におかれましては、引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

## 【第14回修了生および修了論文のテーマ】

(敬称略)

ゼミ	修了生	修了論文のテーマ
禹	井上 智史 (自動車総連)	所定外労働時間の短縮に向けた提案 —労働時間貯蓄制度の導入および職場労使協議の強化—
	鈴木 毅 (全労済)	これからの労働者協同組合 (共済事業) にもとめられるもの —ヨーロッパでの取り組みを手掛かりとして—
	中善寺真美 (日教組)	日本教職員組合と教育改革 —教研集会での発言を中心に—
	八鍬 雅幸 (JAM)	産業別労働組合とものづくり中小企業の人材育成 —JAM電機部会構成組織への調査から—
木本	佐伯 憲輔 (労済労連)	非正規労働者の組織化に向けて —A労働組合のアンケート調査を手がかりに—
	田中 清貴 (情報労連)	市場の成熟を見据えた労働組合の課題 —通信建設業界を中心に—
	田村美都子 (自治労)	女性の貧困の歴史的背景と制度的・構造的要因 —労働組合としてできることを考える
毛塚	足立 達也 (情報労連)	NTT西日本グループにおける雇用管理区分の見直しの現状と課題
	日下部雅淑 (UAゼンセン)	年次有給休暇取得の実態と取得率向上に向けた労働組合の役割
	富樫 英里 (運輸労連)	運輸業界におけるワーク・ライフ・バランスの実現 —宅配ドライバーのシフト勤務による時間外労働の削減可能性への検討—
	平田 有毅 (電力総連)	電力システム改革に伴う会社分割と単一労働組合維持の意義と課題
高木	押田 卓也 (基幹労連)	これからの高齢者雇用のあり方 —誰もが生き生きと働ける雇用制度の構築に向けて—
	戸井田学久 (連合長野)	連合推薦議員の推移と活動について —長野県の地方議会を中心に—
	平田 繁成 (労金協会)	労働金庫の新たな共助の模索
	星野 裕一 (連合本部)	なぜ「労働を中心とした福祉型社会」だったのか
橋元	石原 政将 (電力総連)	今後の争議行為のあり方に関する考察
	谷川 匡 (電機連合)	ボランティア活動による“気付きの場”創出
	持林 裕 (自動車総連)	自動車販売会社の休日取得と残業管理 —管理職の管理能力向上と働き方の改善—
	綿引 哲也 (連合茨城)	組織拡大に向けた取組みについて —連合茨城の組織拡大を前進させるために—

## 第12回「私の提言－『働くことを軸とする安心社会』の実現にむけて－」

### ～入賞提言が決まりました～

第12回「私の提言－『働くことを軸とする安心社会』の実現にむけて－」運営委員会（委員長・南雲弘行(公社)教育文化協会理事長）は、9月7日（月）に第2回運営委員会を開催し、応募提言の審査を行いました。当事業は、教育文化協会と連合が共催で取り組んでいるもので、12回目を迎えた今回も「働くことを軸とする安心社会」の実現にむけた提言の募集を行い、過去最多の31編の応募が寄せられました。

審査の結果、「優秀賞」1編、「佳作賞」2編、「奨励賞」3編の入賞を決定しました。「優秀賞」を受賞された押田卓也さんには、連合第14回定期大会で表彰を行うとともに、提言の要旨を発表していただきました。

押田さんからは、非正規労働者の増加や格差の拡大により社会的なひずみが生じている現状を指摘したうえで、連合運動をさらに社会に広げていくため、①教育基金やワークルールの電子教材等を通じた労働教育の推進、②連合組織内議員として、高齢者や非正規労働者など多様な人材の擁立、③組織間の活発な人事交流、という3つの具体的な提言が訴えられました。

なお、押田さんは本年のRengōアカデミー・マスターコース修了生です（p.3参照）。修了論文を完成させた後すぐに「私の提言」の執筆に着手され、マスターコースでの研究成果をいかに発揮されました。

教育文化協会では、入賞提言6編を掲載した入賞提言集を発行し、会員組織に配布しております。あわせてホームページにも掲載しておりますので、是非ともご一読ください。

#### <入賞一覧>

（敬称略）

賞	氏名	所属	提言名
優秀賞	押田 卓也	基幹労連本部 職員	『働くことを軸とする安心社会の実現に向けて』 ～運動をさらに広げていくために～
佳作賞	久保田 愛	静岡県立高等学校 教諭	ワーキングマザーの視点から見る今後の制度のあり方に関する提言
	福井美津江	「連合福井・非正規労働センター」 会員	人間らしく働く権利を守るために ～「労働組合って何？」から踏み出す新たな一歩～
奨励賞	中澤 真弓	帝京平成大学健康メディカル学部 医療科学科救急救命士コース 助教	埋もれている宝を発掘しよう！ －超高齢化社会に 대응する潜在医療資格者の活用方策－
	御厨 成海	労供労連 新産別運転者労働組合 東京地方本部人材育成センター 職員	労供運動の強化と将来保障の充実を
	和田 祐哉	自治労愛知 豊田市職員労働組合 組合員	連合主導による議会改革



▲連合第14回定期大会で表彰を受ける押田卓也さん



▲力強く提言要旨を発表

## 第9回連合・ILEC幸せさがし文化展 —働く仲間とその家族の公募展— ～入賞者・入賞作品が決定～

「連合・ILEC幸せさがし文化展」は、働く仲間とその家族の文化活動の支援を目的に、絵画・写真・書道・俳句・川柳の5部門の公募展として開催しています。

第9回目となった今回の文化展には、全国から絵画の部に164点、写真の部に469点、書道の部に189点、俳句の部に843点、川柳の部に2031点と、5部門を対象とする開催では、これまでで最多となる3696点の応募をいただきました。なお、絵画部門には、国際労働財団を通じて、ネパールの子どもたちからも30点の応募をいただきました。

厳正な審査の末、各部門の入賞者を決定し、10月7日の連合第14回定期大会で入賞者を表彰するとともに、同会場ロビーで入賞作品の展覧会を開催しました。さらに、10月12日～18日には、NHK／ふれあいホールギャラリーを会場に同作品の展覧会を開催しました。

主な入賞作品と入賞者は以下のとおりです。（全入賞作品は、ILECホームページでご覧いただけます。）

### 連合大賞・ILEC大賞・シニア特別賞・ジュニア特別賞 入賞者・入賞作品 （敬称略）

#### 絵画の部

○連合大賞 「想いを胸に」	西部 隆哉	全電線（古河グループ労連）
○ILEC大賞 「流木のあるスペース」	片岡 美男	JEC連合（元東ソー労組）
○シニア特別賞 「露店」	市川 貞夫	退職者連合（日産エルダークラブ）
○ジュニア特別賞 「夏の森」	河見 優希	徳島県

#### 写真の部

○連合大賞 「ばあちゃんは上手」	浅山 昇	三重県
○ILEC大賞 「願いよ届け」	田中 廣子	退職者連合（元クラレ労組）
○シニア特別賞 「秋日」	宮澤 安夫	長野県
○ジュニア特別賞 「じいちゃんばあちゃんのえがお」	山中 蓮温	退職者連合（クラレ労組OB家族）

#### 書道の部

○連合大賞 「百人一首」	阪本 青悠	三重県
○ILEC大賞 「万葉集」	佐藤 雅嵐	東京都
○シニア特別賞 「雁塔聖教序臨書（紺紙金泥）」	桂石	退職者連合（全印刷局退職者の会）
○ジュニア特別賞 「真理の追究」	佐藤 日香	自治労（黒石市職員労組家族）

#### 俳句の部

○連合大賞 「こいのぼりスカイツリーの深海魚」	さくら	千葉県
○ILEC大賞 「冬至湯や産湯のように母洗ふ」	アリス	大阪府
○シニア特別賞 「餅搗くぞ搗くぞ搗くぞと子が跳ねる」	平井 辰夫	退職者連合（クラレ労組OB）
○ジュニア特別賞 「霜柱弱い自分も踏みつぶす」	高橋 ゆい	電機連合（ホシデン労組家族）

#### 川柳の部

○連合大賞 「田を植えるそれは祈りの姿とも」	橋爪あゆみ	埼玉県
○ILEC大賞 「赤い糸ちょうちょ結びにってしまう」	門脇かずお	鳥取県
○シニア特別賞 「見知らない人をネットが結びつけ」	岸野 洋介	岡山県
○ジュニア特別賞 「朝日さす祈り祈られ今日受験」	高橋 ゆい	電機連合（ホシデン労組家族）



▲連合第14回定期大会表彰式



▲東京国際フォーラム展覧会場



入賞作品集  
頒布価格1000円＋税

# 一定時総会・理事会を開催

教育文化協会は、2015年9月18日に連合会館において、第3回一定時総会を開催しました。一定時総会では、2014年度（2014年7月1日～2015年6月30日）事業報告・決算および2015年度の役員報酬総額、役員改選の4議案について提案され、いずれも提案通り承認されました。

これに先立ち、同年6月18日の第11回理事会において、2015年度（2015年7月1日～2016年6月30日）事業計画・収支予算、特別寄附金の受領、労働運動史事典運営基金の取り崩し、原稿料規程の5議案について提案され、いずれも提案通り承認されました。

2015年度は、引き続き、本協会の事業目的の達成に向けた取り組みを通じて、労働運動を担う人材育成、労働教育に対するニーズに応えるべく、各事業の質的充実に努めて参ります。

※2014年度事業報告・決算報告および2015年度事業計画・収支予算は、ホームページに掲載しています。

## 公益社団法人教育文化協会 理事・監事・顧問一覧

理事（26名）

2015年9月18日時点

役職名	氏名	所属団体・役職（職業）	役職名	氏名	所属団体・役職（職業）
理事長	南雲 弘行	教育文化協会 理事長	理事	岸本 薫	電力総連 会長
副理事長	神津里季生	連合 事務局長	理事	永芳 栄始	JEC連合 会長
専務理事	木村 裕士	連合 副事務局長	理事	難波 淳介	運輸労連 委員長
常任理事	村杉 直美	教育文化協会 前常任理事	理事	藤井 一也	私鉄総連 委員長
理事	八野 正一	UAゼンセン 副会長	理事	松谷 和重	フード連合 会長
理事	青木真理子	自治労 書記次長	理事	山口 浩一	交通労連 委員長
理事	郡司 典好	自動車総連 事務局長	理事	立川 博行	海員組合 政策局長
理事	野中 孝泰	電機連合 書記長	理事	安藤 栄二	労金協会 常務理事
理事	藤川 慎一	JAM 副会長	理事	阿部田克美	全労済 常務執行役員
理事	岡本 泰良	日教組 書記長	理事	菅家 功	連合総研 専務理事
理事	操谷 孝一	基幹労連 副委員長	理事	團野 久茂	国際労働財団 専務理事
理事	小俣 利通	JP労組 委員長	理事	中村 圭介	法政大学院連帯社会 インスティテュート教授
理事	柴田 謙司	情報労連 書記長	理事	廣瀬真理子	東海大学 教授

監事（3名）

役職名	氏名	所属団体・役職（職業）	役職名	氏名	所属団体・役職（職業）
監事	塩田 正行	連合 総合総務財政局長	監事	岩田 一喜	公認会計士・税理士
監事	浜田 一郎	生保労連 委員長			

顧問（4名）

役職名	氏名	協会経歴	役職名	氏名	協会経歴
顧問	西村 寿紀	元 専務理事	顧問	高木 剛	前 Rengoアカデミー校長
顧問	須藤 安三	元 副理事長	顧問	岡部 謙治	前 理事長

### 事務局より 退任・着任者からのご挨拶

□2年半という短い期間でしたが、大変お世話になりました。連合寄付講座、労働法講座、「私の提言」募集事業などを担当する中で、組織内外の多くの方々と出会い、労働運動について視野を広げることができました。ILECでの経験を連合本部での新たな業務に活かしていきたいと思っております。これからもご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

（縫部浩子ディレクター…連合本部へ復帰）

□10月1日付で着任いたしました。連合運動を労働教育及び教育文化活動の面から盛り上げていくため、微力を尽くす所存です。ご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

（星野裕一部員…連合本部より出向）

## 編集後記

残暑もほとんどなく、一気に秋になったようです。〇〇の秋といえば、食欲、芸術、読書、運動など、いろいろありそうですが、皆さんにとってはどんな秋ですか？私は食欲です。